

# まきんぱり/10月

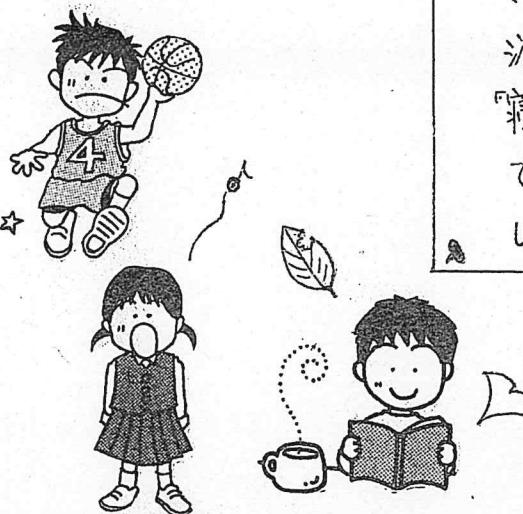
神明中 保健室(海谷美子代) R4.10.7

「入秋の秋」、「読書の秋」「芸術の秋」など、秋はいろいろな表現をされる季節です。気候が穏やかで過ごしやすいので、何をするのもよい季節ということなのです。さらにおいしいものがたくさん出回るので「食欲の秋」というものもありますね。旬の食べ物からしっかり栄養とり、やがて近づいてくる寒い季節に備えましょう。美しいものを見たり、ステキな音楽を聴いたり、心にも栄養をたっぷり与えることも忘れないでください。

さて、いよいよ文化発表会の神明中の大きな行事のひとつです。学年それぞれに違う、すばらしい見えてくる行事だと思います。練習期間中は様々なトラブルや困難があり、つい思いをして人もいたのではないかでしょうが、本当によく頑張りましたね。みんな練習お疲れ様でした。みんなの命が昌黎しめています。

**10月10日は「パソコンの愛護デー」** というて今月は目の「愛護デー」=ちゃんと目の特集です。  
先日 学校医の先生や保護者の方にも参加していただき、保健や給食に関する会議を開きました。

- ①新型コロナで自宅学習が続いたあと、眼科医の先生方が予想していたよりもすごい勢いで近視の人が増えました。また、タブレットなどと見続けることで、斜視になるリスクも高くなっています。
- ②パソコンやスマホを20分見たら、20秒目を離す。5m以上先を見ることを習慣化し、目を守ることが大事。
- ③1日のうち2時間屋外で過ごすと視力低下のリスクが下がると海外の研究報告がある。太陽にあたらないてもいいので、外にいる時間となどでした。



★【パソコンはなぜ目に悪いの?】

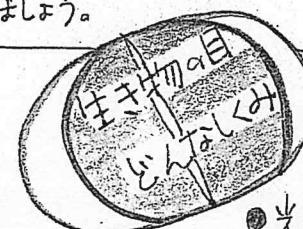
パソコンの画面はたくさんの小点が集まって文字や画像を作っています。この小点は、1秒間に数十回の早さで点滅しているのです。

パソコンを使う、という間はこの点滅の刺激を毎回続けるので、目が疲れます。

パソコンどうしても使わなければならぬ場合にモニターと目の間を50cm以上離しましょう。

第3の紫外線～ブルーライトの影響とは～

パソコンやスマートフォンも出ているブルーライト。ブルーライトは、人の目で見ることできる光=可視光線の中でも最も波長が短く、強いエネルギーをもつていて、角膜や水晶体で吸収されずに網膜まで到達します。その透過性、強さは皮膚のままで侵入し、細胞や組織までダメージを受けることがあります。また、ブルーライトは、体内リズムにも影響を及ぼしてしまいます。夜にブルーライトを浴びると脳がまだ昼間だと勘違いして睡眠を促すメラトニンという物質が分泌されず、寝つきない「よく眠れない」、ぐるり眠れないなど、睡眠の質を低下させ脳や体を休めることができなくなってしまいます。いい眠りのために寝る2時間前にはスマホから離れるようにしましょう。



## 目のふしき

●光る!ネコの目。

暗いところでもらんらんと光るネコの目。これは光を反射する「タバタム」というしくみが備わっているから。このしくみのおかげで、ネコは夜が見えるのです。

●「くさん!」昆虫の目。

トンボやチョウなどの目はよく見て細かい網のようになっています。二一つひとつがすべて目なのです。広い範囲が見えるため、エサや敵が近づいてくるとすぐにわかります。

●閉じない目? 魚の目。

多くの魚には「まぶた」がありません。つまり、目をぐるごるとなく開けたままなのです。じゃあ、寝るときは? もちろん魚もときどき眠いますが、やはり目は閉けたままなのです。

